

人権尊重のまちづくりの担い手

—人権感覚を磨く—

今年度も人権・同和問題小地域懇談会にご協力いただき、ありがとうございます。

大山町の小地域懇談会の目的は、『町民一人ひとりが人権尊重のまちづくりの担い手として主体的に行動する実践力を養う』ことです。

今回は、「人権尊重のまちづくりの担い手」の資質の基盤となる「人権感覚」について考えてみたいと思います。

人権意識と人権感覚

人権意識と人権感覚は、明確に切り離せないものですが、「意識」は自分が今何をしているのか、どういう状況に置かれているのかが、自分ではっきり分かる心の状態だと言われます。

これに対して、「感覚」は、本能的、自然的、無意識的な内容を含んでいるもので、知識として入ってきたものが、自分自身の中で消化され、身体の一部になった性質だと言われます。したがって、人権感覚は私たち

が考えたり判断したり、行動したりすることの基礎となるものだと考えられます。そのために、人権感覚を常に点検し、磨いていくことが大切になると思います。

人権感覚を磨く

日常生活の中で、次のようなことからとらわれることはないでしょうか。

- ・ 世間の噂や人の目を気にする。
- ・ 中身や本質より外見にこだわる。
- ・ 他人との物質的な格差にこだわる。

- ・ 地位・名誉・学歴などの上下関係にこだわる。
- ・ 権威を振りかざしたり、逆に権威に服従したりする。
- ・ 自己中心的で、他との利害にこだわる。

・ 古い考え方に固執して柔軟な思考ができにくい。

これらは、人間である以上、誰にでもあることかもしれません。しかし、これらにこだわることにより、物事の本質を見抜けないばかりか、

知らず知らずのうちには人権侵害につながる考え方や行動をとってしまうことになる危険性もあるのではないのでしょうか。

ねらいとして行っています。これからも、学び続け日常生活の中で人権感覚を磨いていきたいものです。

大山町の小地域懇談会は、「人権尊重のまちづくりの担い手」としての資質を身に付けていただくことを

(参考)
 ・「鳥取県人権文化センター人権学習ブックレット④」

大山町みんなの人権セミナー

- ◆日時 1月20日(土) 15時50分～
- ◆場所 中山温泉生活想像館 わくわくホール
- ◆演題 「あいりん小中学校」から現在のこどもの里、山里こどもセンターについて(仮)
- ◆講師 生田武志さん

大阪市西成区釜ヶ崎にある「こどもの里」。ここは、障がいや国籍の有無にかかわらず0歳から20歳までの子どもが無料で利用できる遊び場であるとともに各家庭のケースに応じた短中期的な宿泊機能、長期的な養育を行う里親としての機能を持つ施設です。「こどもの里」に関わってこられた生田武志さんにご講演いただきます。

講演の前に映画を見ませんか？

映画「さとにきたらええやん」14時から上映
 映画代金 大人800円 中学生以下500円

- ◆問い合わせ先 人権交流センター
 ☎0859-54-2286